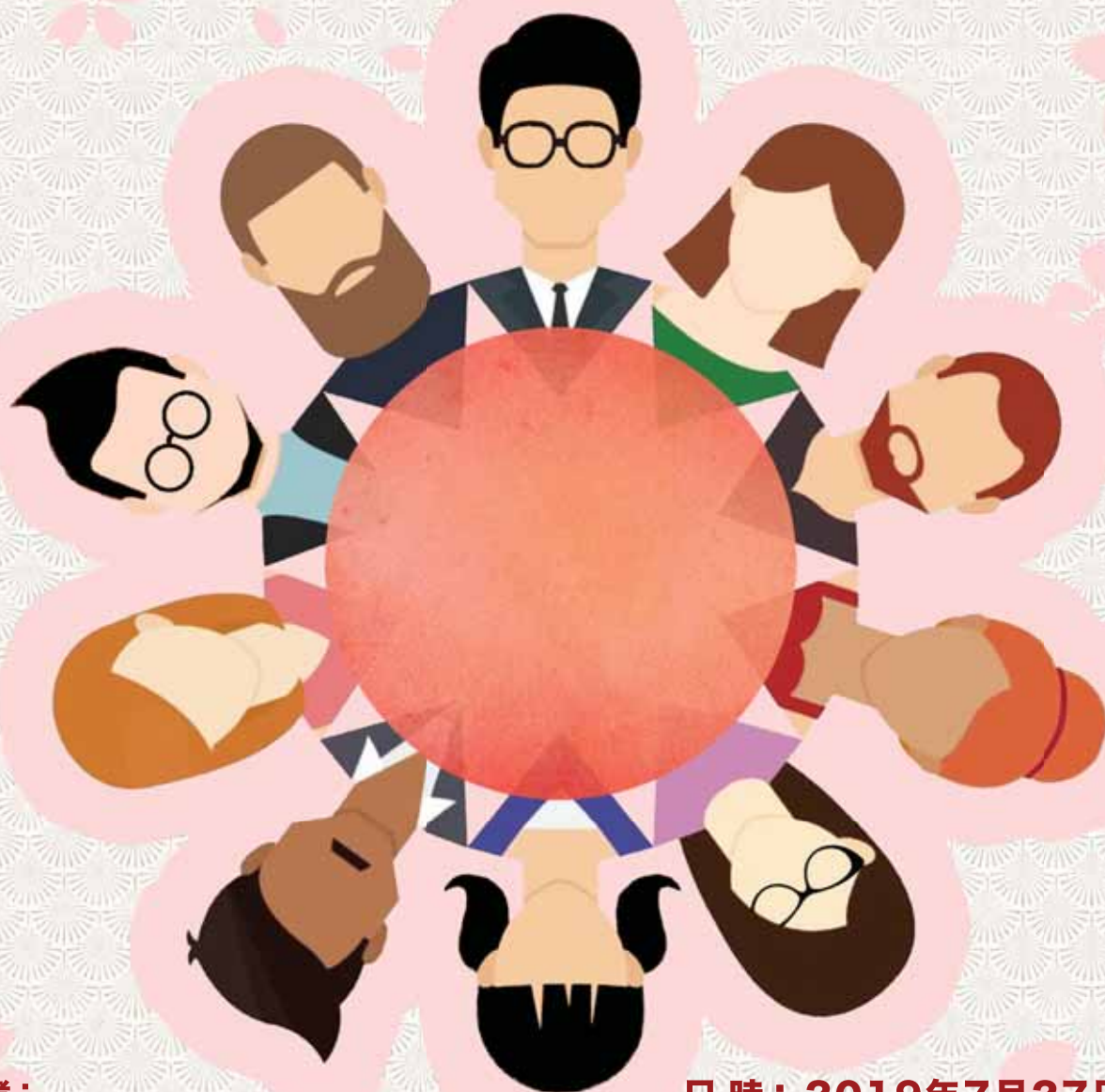


第12回SGRAカフェ

「混血」と「日本人」

ハーフ・ダブル・ミックスの社会史



発表者：

下地 ローレンス吉孝
上智大学非常勤講師

コメンテーター：

ソンヤ・デール
一橋大学大学院社会学研究科・社会学部 専任講師

ファシリテーター：

ファスベンダー・イザベル
立命館大学言語教育センター 外国語嘱託講師

日時：2019年7月27日（土）

午後2時00分～4時00分

会場：鹿島新館・渥美財団ホール

東京都文京区関口3-5-8

<http://www.aisf.or.jp/jp/map.php>

会費：無料

参加申し込み・お問合せ：

SGRA事務局

sgra-office@aisf.or.jp

03-3943-7612（平日10：00～17：00）

【趣旨】

『「混血」と「日本人」——ハーフ・ダブル・ミックスの社会史』の著者、下地 ローレンス吉孝さんを招き、いわゆる「ハーフ」と呼ばれてきた人々に注目し、「日本人」という実は曖昧な言葉の境界について参加者とともに考えます。

「日本人」の境界線はどのように引かれているのか。その境界に生きる人々は、いかに生きているのか。時に侮蔑的な言葉を浴びせられ、時に差別され、あるいは羨望のまなざしで見つめられながら、「日本人」と「外国人」のはざまを生きてきた人びと。そんな彼らの戦後から現代までの生活史をたどることで、もうひとつの「日本」の輪郭線を浮かび上がらせます。

【プログラム】

14:00~14:40 発表 (下地 ローレンス吉孝氏)

14:40~14:50 コメント (デール、ソイヤ氏)

14:50~16:00 質疑応答&フリーディスカッション (ファシリテーター：ファスベンダー、イザベル氏)

【プロフィール】



下地 ローレンス吉孝

1987年生まれ。一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。専門は社会学・国際社会学。現在、上智大学、国士舘大学、開智国際大学などで非常勤講師として勤務。著書に『「混血」と「日本人」：ハーフ・ダブル・ミックスの社会史』（青土社、2018年）がある。



デール、ソイヤ

社会学者。ウォリック大学哲学部学士、オーフス大学ヨーロッパ・スタディーズ修士を経て上智大学グローバル・スタディーズ研究科にて博士号取得。これまで一橋大学専任講師、上智大学・東海大学等非常勤講師を担当。ジェンダー・セクシュアリティ、クィア理論、社会的なマイノリティおよび社会的な排除のプロセスなどについて研究。2012年度渥美財団奨学生。



ファスベンダー、イザベル

東京外国語大学博士後期課程在籍中（2020年3月修了見込）。専門はジェンダー社会学。立命館大学にてドイツ語講師、同志社大学にて非常勤講師（Japanese Society and Culture, Ethnicity in Japan）を担当。現在の研究テーマは生殖をめぐるポリティクス、妊活言説。2017年度渥美財団奨学生。

主 催： (公財) 渥美国際交流財団関口グローバル研究会 (SGRA)
www.aisf.or.jp/sgra